

各関係機関団体の長 } 殿  
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長  
(福岡県病虫害防除所)

技術情報第2号

イチゴ親株におけるハダニ類の発生について

イチゴの親株に寄生するハダニ類は、昨年より少ないですが、徐々に増加してきています。向こう1か月の天候は、平均気温は平年より高く、降水量は平年並か少ない見込みで、ハダニの増加に好適な条件になっています。

親株での寄生数が多いとランナー（子苗）へ寄生する数も多くなり、最終的には本ぼへの持ち込みも多くなることが懸念されます。

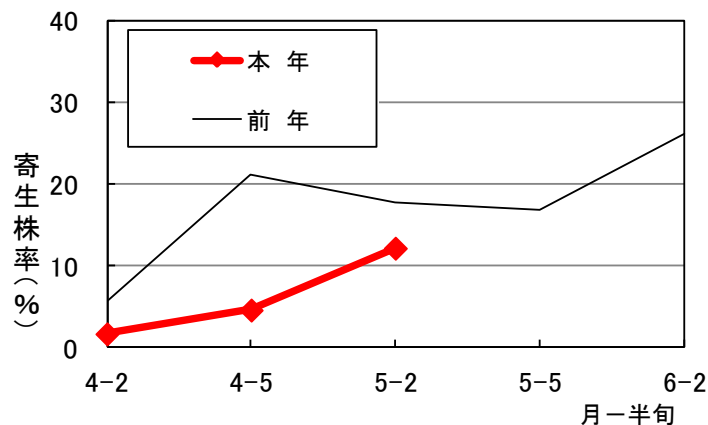
親株の時期から、ハダニ類に対する薬剤防除を徹底して下さい。また、下葉はハダニ類の寄生数が多く、薬剤もかかりにくいことから、下葉の摘葉も励行してください。

1 対象作物名：イチゴ

2 病虫害名：ハダニ類

3 発生状況

5月2半旬調査の結果、  
寄生株率 12.2%（前年17.7%）  
発生ほ場率 75%（前年 75%）



イチゴ親株期におけるハダニ類の寄生株率

4 防除上注意すべき事項

- ア 下位葉にはハダニ類が多く寄生しており、薬剤もかかりにくいいため、摘葉を励行する。摘葉した葉は親株床に放置せず、ビニル袋等に入れて密封し処分する。
- イ 薬剤防除は摘葉後に行うと効果的である。なお、摘葉後は炭疽病の薬剤防除も併せて行う。
- ウ 気門封鎖剤を含めた異なる系統の薬剤を、ローテーション散布する。